



北海道霧多布高等学校

英知・錬磨・創造

霧高だより

教育目標

- 1 学習を重んじ、高い知性と豊かな情操を持った人をつくろう。
- 2 秩序を重んじ、個々人の責任と義務を果たす人をつくろう。
- 3 個々の人間性を重んじ、互いに協力し合う人をつくろう。
- 4 健全な体と意志を錬磨し、創造的に生きる人をつくろう。

発行日：令和3年10月29日（金）

☆校長室より☆

（校長 石谷 正）

秋の風が冷たくまもなく冬の到来？と思わせる季節になりました。

学校も後期に入りましたが、早々にうれしい話を聞くことができました。まず、10月2日におこなわれた「チャレンジグルメコンテスト北海道」で「フードデザイン」と「地域ビジネス」の二つの授業で共同開発した牛乳プリン『きりたっぷりん』が商品企画賞に選ばれたこと、二つめは、翌日10月3日の「ルパン三世フェスティバル in 浜中町」で3年生全員が浜中町を紹介したビデオに出演し好評を得たこと、三つめに10月15日の北海道高校生防災サミットに生徒会役員が参加し、防災について高校生の視点で語り提言できたなど、霧高生の活躍が多くみることができました。このことは、本校だけでなく、浜中町の発展にも貢献しているのではないかと考えています。

また、新型コロナウイルスによる三度の緊急事態宣言も解除され、放課後部活動で活動する声が聞こえてくるようになり、やっと本来の教育活動に戻っているように感じられます。今までの生活でコロナ禍による影響で失われたものは色々あると思います。以前のような生活は戻ってきませんが、未来に向かって路は開けてくるのではないかと考えています。

「あきらめてやめるのは簡単ですが、どんなに苦しくても、がむしゃらに最後までやり切ることが大切であり、それを支えてくれるのが仲間であること」という、ある野球選手の引退会見で述べた言葉を思い出しました。学校生活も同じことがいえるのではないのでしょうか。学校は集団で生活する場所です。個性も大切ですが集団での仲間があり協調しながら成長する。未来を信じてひとりひとりが考えてほしいと願っています。

体育祭を終えて

（2年A組 太田 喬凱）

僕は全種目に出場したので、印象に残っている種目を2つ挙げたいと思います。1つ目は、ぐるぐるバットです。中でも、珀季君と瀧田先生が面白かったです。たまに思い出します。2つ目は、大縄飛びです。優勝もできましたし、学年としてのチーム力も上がった気がしました。このチーム力のまま見学旅行を無事に終わらせたいと思います。



（2年B組 竹詰 ゆずか）

私が体育祭を終えて一番思い出に残っているのは、玉入れで戦った学年に圧倒的な差をつけて勝ったことが嬉しかったです。また、ぐるぐるバットでは、瀧田先生がアンカーを走り、他の学年よりも盛り上げることができました。当日は、クラスメイトが休んでしまいましたが、みんなの協力もあり、詰まることなく競技を進行でき、とても助かりました。ありがとう！来年は目指せ1位だ！せーの！えいえいおー！



チャレンジグルメコンテストに参加して

(3年A組 種市 美希)

私は、10月2日土曜日に行われたチャレンジグルメコンテストに参加しました。霧高の商品は、「きりたっぷりん」です。霧多布とプリンを組み合わせその名前にしました。4月から作り始め、計20回以上もの試作を繰り返しながら、完成させることができました。結果、商品企画賞をもらうことができ、自分たちの卒業までに全道のコープさっぽろに売り出されるということなので嬉しかったです。来年度は、大賞を目指して頑張ってください。ありがとうございました！！

(3年A組 上原 雅偉)

チャレンジグルメコンテストに参加して、浜中町の特産物を使用した商品を作ることで、浜中町のことをもっと知ってもらえると思いました。貴重な経験をたくさんすることができたので、これからの生活に生かしていきたいです。コープさっぽろ賞をとることができて良かったです。また、他の学校の作ったものも美味しそうで、とても楽しかったです。



書道支部大会 優秀賞を受賞して

(3年A組 渡辺 さくら)

私は今回、釧根支部書道展・研究大会で優秀賞をいただくことができました。いろいろと忙しい時期もあり、作品を思う存分に練習できず、正直あまり満足のいく作品ではありませんでした。ですが、評価をしていただいた中で、3年間諦めずに頑張ってきて良かった！と思いました。私にとって書道は心を落ち着かせてくれる存在です。辛いことがあっても、作品を書いていれば忘れることができました。1年生では支部推薦、2・3年生で優秀賞をいただけて、本当に嬉しいです。指導してくださった顧問の先生方のおかげなので感謝しかありません。



北方領土学習を終えて

(1年A組 北館 空)

私たちは小学生のころから北方領土のことについて学んできましたが、今回の北方領土学習を終えて私は今まで考えが片寄っていたと感じました。北方領土は日本の島なので返してほしいと思っていましたが、元島民の方は、今住んでいるロシア人の方々と一緒に住むことができたなら一番いいと話されていました。私はその話を聞いて賛同しました。一緒に住むことができたなら、今後島を巡った争いが起きる可能性が少ないと考えたからです。



11月 行事予定

- 1日(月) 金融リテラシー教室
(北海道霧多布高等学校創立70周年・
大地みらい信用金庫浜中支店開設70周年記念共同事業)
- 2日(火) 開校記念日
- 9日(火)～12日(金)
見学旅行(2学年)
- 24日(水)～26日(金)
後期中間考査